

SRHD、スポーツ用品会社を子会社に アジアで販路拡大

2024/9/20 18:20 | 日本経済新聞 電子版



成約式に出席したSRHDの荒木栄作社長(左)とウインスポーツの野崎圭市社長(広島県福山市)

SRホールディングス（HD、広島県福山市）はスポーツ用品会社、ウインスポーツ（東京・中央）の全株式を取得して子会社化した。祖業の物流事業からM&A（合併・買収）によってアパレル、機械製造など事業の多角化を進めている。市場が拡大するアジアでの販売も目指す。

ウインスポーツはブラジル・サンパウロで1970年に誕生したスポーツブランド「PENALTY」の日本での商標権を持つ。Jリーグ、Bリーグ、Vリーグのほか大学や高校、ジュニアのスポーツチームなどにユニホームや関連の製品を供給している。今はサッカー向けが主力で、今後はバスケットボールやバレーボール向けの強化も進めていく。

サッカーなどスポーツ関連の市場はアジアで成長している。M&Aを機に東南アジアでの販売を検討する。ウインスポーツはSRホールディングスから資金や人材面で協力を得て、年間売上高を現在の約12億円から5年後に20億円に拡大する計画だ。

SRホールディングスは事業承継などにより多角化を積極的に進めており、8つの事業を展開している。多様な事業を持つことで相乗効果を発揮し、リスクを補完し合うことを狙っている。

スポーツ関連では2023年にスポーツ施設の運営などを手掛けるTeam39（東京・墨田）の全株式を取得した。ユニホームなど用品の事業を強化し、スポーツ事業を幅広く展開していく。

地域ニュース

[全国各地の最新記事やおすすめコラムはこちら](#)